

授業科目名	教職実践演習 (Practical Seminar for Teaching Profession)		
科目番号	98100(産業技術学部) 88100(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	4年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員(研究室)	嶋 俊樹 (障害者高等教育研究支援センター:春日:338) 佐藤 正幸 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター502) 長南 浩人 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター401) 田嶋 美雪 (総合デザイン学科:校舎棟119)		
実務経験のある教員による授業科目	担当教員は高等学校や特別支援学校での勤務経験を有する。茨城県教育委員会等、教育に携わる外部講師による講演を設ける。学生は自身の教育実習と現場の話を照らしながら話を聞き、教育への理解を深めることができる。また、自身の課題に対し、現場に即した知見や助言を得ることができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教育実践に関する科目		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程での学びを振り返り、自身の今後の課題を明確にすることができる。 2. 自らの課題を追究し、得られたことをまとめ、発表・議論することができる。 3. 「教員に求められる使命感や責任感、教育的愛情等」、「社会性や対人関係能力」、「児童生徒理解や学級経営」、「教科等の指導力」等の視点から、教員として身につけるべき資質・能力について考え、自身に必要な資質・能力を説明することができる。 4. 障害を有して教壇に立つことの意義を考え、説明することができる。 		
授業概要	これまでの教育や教科に関する講義・演習、実践を振り返り、自らの知識・技能・実践力等を客観化する中で、各自が自らに実践的課題を課し、それに関するフィールドワークを計画・実践し、報告・ディスカッションを行う。また、茨城県教育委員会等から外部講師を招聘し、現在の教育情勢について学ぶ。これらフィールドワーク、ディスカッション、講演等を通し、中学校・高等学校の現場に応じた知識・技能・実践力を高める。また、筑波技術大学の教職課程の理念と目標を理解し筑波技術大学教職課程に学ぶものとしてのアイデンティティの確立に努め、各自が「よりよい教師となるための自己課題」を明確化し、これからの自己形成とキャリア形成の目標を立てる。クラス編成と担当教員は原則として教育実習1・2と同じクラス分けとする。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 教職履修カルテの見直し、事前配付資料を読む/課題研究の準備・計画(2H) 事後学修 講義内容を振り返る/課題研究の実施内容をまとめる(2H)		
授業計画	第1回:授業の目的と概要 第2回:履修カルテによる振り返り 教職としての自身の課題の整理 第3回:課題研究 準備1 自身の課題・関心から課題研究のテーマを決める 第4回:課題研究 準備2 課題研究の計画を立てる 第5回:課題研究 実践1 第6回:課題研究 実践2 第7回:課題研究 実践3 第8回:課題研究 実践4 第9回:課題研究 実践5 第10回:課題研究 発表・ディスカッション1 第11回:課題研究 発表・ディスカッション2 第12回:教育的諸課題から考える 第13回:教育実習・授業実践の振り返り 第14回:教員が身につけるべき資質・能力について考える 第15回:まとめ 教職としてのキャリア形成を考える		

テキスト	なし。資料を配付する。
参考書・参考資料等	授業中に適宜資料を配布する。
成績評価方法	課題研究・発表 50% 小レポート:15% 授業への積極的参加状況(グループワーク・ディスカッション):35%
成績評価基準	A+: 到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A: 到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B: 到達目標を達成し、良好な成績を修めている C: 到達目標を最低限達成している。 D: 到達目標に達していない